

理事選挙立候補宣伝文

岡庭 隆門	独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こころの医療センター
<p>医療、保健、介護を取り巻く情勢が大きく動いている今、作業療法士にとっては社会の役に立つ専門職として力を発揮するチャンスとも言えます。現在、静岡県作業療法士会も1,500名を超える大きなチームとなっていますが、「県士会の強み」は会員一人一人のチャンスをちゃんと身近で支えられることです。諸先輩方が基礎から築きあげてくださった静岡県士会の繋がりや連帯という伝統のもと、会員にとって身近で頼りになる県士会となれるよう尽力させていただきたいと考えております。</p>	
岡本 博行	富士リハビリテーション専門学校
<p>今期は、調査部と東部地区を担当させていただきました。また日本作業療法士協会が今後勧めていく予定である「生活行為工夫情報」にモデル事業として静岡県士会も事業の啓発と運用準備に関わらせていただきました。2020年度には学校養成指定規則の変更もあり、必要とされる作業療法士の要件も変化しつつあります。変化に柔軟に対応でき、会員の方がより先進的に取り組まれるシステム作りを目指したいと思っております。</p>	
三井 忍	フジ虎ノ門整形外科病院
<p>理事に立候補させて頂いたフジ虎ノ門整形外科病院の三井忍です。今期は学術部担当理事と副会長を務めさせて頂きました。来期において当選させて頂いた場合には、会員の皆さんにとって、今以上に、心理的にも物理的にも、静岡県作業療法士会が拠り所になるように、理事として県士会の運営に、再び参画したいと考えています。まだまだ力量不足な人間ではありますが、何とぞよろしくお祈いします。</p>	
大庭 俊裕	訪問看護ステーション はっぴい。まいんど
<p>この度、6期目の理事に立候補いたします。前任期間は財務部担当として、事務局の業務に深く関わらせていただきました。県士会の基盤となる事務局の業務が、効率的かつ合理的に遂行されるよう、さらなる業務整備と充実化を図り、会員の皆様に還元できるよう、努力する所存です。ご理解とご協力の程、何卒よろしくお祈い申し上げます。</p>	
秋山 尚也	浜松市リハビリテーション病院
<p>この度、理事に立候補させて頂きました秋山尚也と申します。少子高齢化社会を迎え、私たち作業療法士は、専門性を活かし、様々な場面で活躍を求められています。先輩OT方が築き、発展させてきた静岡県作業療法士会の更なる発展と、県士会員の皆様、地域の皆様のために微力ではありますが、臨床現場から発信できればと思っております。よろしくお祈い致します。</p>	
齊藤 洋平	NTT東日本 伊豆病院
<p>この度、理事に立候補を致しました齊藤洋平です。平成25年度より3期目を務めさせていただいております。現在は、主に福利部および訪問リハビリテーション連絡委員会を担当させていただき、会員の共益に関する事業やPT・ST士会合同での事業に協力させていただいております。今後も静岡県作業療法士会の更なる発展のため、会員の皆様のために微力ながら精一杯務めさせていただきたく存じます。ご支援のほど、よろしくお祈い致します。</p>	
藤田 さより	聖隷クリストファー大学
<p>この度、はじめて理事に立候補させていただきました。私は精神科病院10年、現在の大学で12年、作業療法士として精神領域・地域領域・養成教育に関わって参りました。また1児の母として家庭と仕事の両立についても経験して参りました。そのような経験を活かし、静岡県作業療法士会が地域に根付き愛され、またより女性が輝ける現場をサポートできるよう尽力したいと思っております。どうぞよろしくお祈い致します。</p>	
建木 健	NPO法人えんしゅう生活支援net
<p>事業部担当理事をこれまで努めさせていただきました。IT化、ニーズ多様化、価値観の変化に伴い作業療法もその変化に適応しなければいけない時代です。医療・福祉のみならず地域で作業療法がどのように貢献できるかを模索しつつ、県民に作業療法の利用価値を知っていただき広めていきたいと考えています。また県士会活動を通して士会員の活躍の場が拡充できるよう貢献していきたいと思っております。よろしくお祈いいたします。</p>	

稲葉 洋介	静岡医療科学専門学校
<p>平成18年より理事に選出していただき、現在は、教育部でMTDLP普及と西部地区担当として活動させていただいています。現在県内では、行政や様々な専門職団体が「地域で生活を支援する活動」を進めています。今後、作業療法士もこの流れに乗って活躍できる場を広げていくことが重要であると考えられます。今までの経験を活かして会員や一般の方々にも有益な県士会活動ができるように尽力したいと考え立候補をいたしました。</p>	
林 正春	JA静岡厚生連 リハビリテーション中伊豆温泉病院
<p>これまで4年2期地域活動推進部担当理事を務めて参りました。時代は令和「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」へと移ります。新たな文化が生まれる中で、作業療法も新たに生まれ育つと思います。新しい時代の中で会員の皆様と新しい作業療法の歴史をつくっていきたいと思ひ3期目の役員に立候補させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	
生田 純一	農協共済 中伊豆リハビリテーションセンター
<p>現在、制度対策部として活動しております。県士会の発展は、先輩方の献身的な運営に支えられてきました。これからは、中堅世代が士会運営に携わり、若い世代～同世代の意見を反映し、時代に即した体制を構築していくことが重要と考えます。また、職能団体として、社会のニーズに応えた運営を行い、県民に必要とされる団体になる必要があります。県士会の更なる発展に寄与することができればと考え、立候補を決意いたしました。</p>	
大石 裕也	医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院
<p>地域包括ケアシステムの構築は職場や家族の理解のもと達成される事だと思います。「やりたくてもできない…」今、若い会員の皆さんが置かれている状況は限りなく大変な状況と認識しています。その中で会員皆様が会費を払う価値のあるサービス、活動に参加・協力しやすくなる運営を目指して、会則の整備や内外に対してしっかりとした公益法人としての人格を形成できるよう働きかけていきます。皆様ご支援の程、宜しく願いいたします。</p>	
村岡 健史	常葉大学
<p>2005年より7期14年間、理事として活動して参りました。現在は教育部担当理事として新人教育及び生涯教育制度、さらにMTDLPを推進するとともに、災害対策委員長として災害時緊急連絡システムの整備や3士会（OT・PT・ST）での取り組みについて担当しております。公益社団法人としての県士会および会員の皆様のさらなる飛躍に向けて尽力したいと存じますので、このたび立候補させていただきます。よろしくお願いいたします。</p>	
伊井 玄	静岡医療福祉センター 児童部
<p>私は県士会理事に立候補させていただきます。17年間発達障害のリハビリに関わりをもってきました。その中で医療現場での関わり的重要性を実感しています。それと同時に、地域の生活の中でのサポートも重要になってきます。その中でも特別支援教育の現場でのサポートへのシステム作り、人材育成に尽力をしていきたいと考えています。さらに、事務局機能の充実を図れるように積極的に取り組んでいきたいと考えています。</p>	
川口 恭子	公益財団法人復康会 鷹岡病院
<p>この度、初めて立候補致します。これまで、精神科の臨床現場で治療・関わりに務めて参りました。近年、県の地域移行・地域定着の事業に取り組む中で、県士会活動と繋がり、地域活動推進部や学会の活動に取り組んで参りました。そこで様々な立場や職種の方と出会い、県士会という組織やその在り方に触れ、私自身の視野や考えを広げるきっかけを頂きました。これまでの学び、繋がりを大切に、精一杯務めたいと考えております。</p>	

監事選挙立候補宣伝文

秋山 恭延	JA静岡厚生連 遠州病院
<p>私はこれまで3期6年間、本会の会長を務めさせて頂きました。今後、本会の舵取りは次世代の会員の方々に託したいと思ひます。そして、私自身はこれまでの経験を生かし、今後の本会の運営が少しでもスムーズに行えるようサポート出来ればと考え、監事に立候補させて頂く事にしました。</p>	